

**TAKARA RENTAX GROUP
OWNER'S
NEWSPAPER**

Newsletter For Landlords (オーナーズ新聞)

P.01
代表者・部門責任者からご挨拶

P.02-04
仲介・管理 各担当からご挨拶

P.05
入居者からの問い合わせランキング
2019年不動産市況とアプローチ

P.06
協力業者からご挨拶
人気設備ランキング

**TAKARA RENTAX GROUP
OWNER'S
NEWSPAPER Vol. 90
2019.01**

新年のご挨拶

～「2019年の動向とチャレンジ」～



タカラレンタックスグループ各社
代表取締役
宮野 純
出身：大阪府吹田市

新年あけましておめでとうございます。

今年も皆様の管理物件の満室経営に努力してまいります。

前号でも少し触れましたが、スマートデイズ社の運営するサブリース物件「かぼちゃの馬車」を発端にしてスルガ銀行の不正融資が事件になったことでアパートローンの融資審査が厳格になったことをよく耳にします。

今年はアパート・マンション新築、リフォームに関する融資の実行がきびしくなることが想定されます。

関西に目を向けると、大阪万博が2025年に開催される事が決まりました。

さらに外国人旅行者によるインバウンド効果では、昨年の台風での関西空港の損傷で一時的に減少したものの、復旧も早くほぼ復調したと思われます。昨年の地価ではミナミ（難波・心斎橋エリア）のインバウンド需要が、オフィス需要が好調で価格上昇傾向が数年続くキタ（梅田エリア）をも超え、公示地価でミナミがキタを初めて超えました。

これらの需要が今後も継続することで、都心部の商業地でのホテル用地取得を中心にミニバブルが継続するのではないかと想像します。

今後しばらく続くマイナス要素のアパートローン融資や人手不足等と、プラス要素のインバウンド・オフィス・大阪万博・オリンピック等の動向を注視していくますが、さまざまな意思決定には多岐にわたる目利きが必要になります。

2019年から未来に向か、当グループも居住系サービスのみならず、事業用や民泊事業の提案ができるようになりたいと思います。これにはスタッフ全員が学び、共感し、チャレンジすることで進んでまいります。

私たちは総合不動産業を目指してまいります。

この一年が皆様にとって最良の年になりますようお祈りして、年頭の挨拶とさせて頂きます。

2019年1月吉日



タカラレンタックスグループ各社
専務取締役
内田 直久
出身：大阪府豊中市

あけましておめでとうございます。

昨年中は多大なご支援ご鞭撻をいただきまして誠にありがとうございました。

今年も消費税改定を始めとして社会は大きく変化しています。AIの発達により今まで人間がしてきたことを、RPAを含めたロボットが行うようになっていくことでしょう。人間が出来ること、人間しか出来ないことが何であるかを明らかにして、それがどれだけオーナーさまやお客様の役に立つかを考え全社員が行動してまいります。

さらに社員のマナーの向上やその他の研修ミーティングを行い社員の成長を図り、オーナーさまに喜んでいただけるように進んでまいります。

本年もどうぞよろしくお願ひします。



管理営業部
部長
石田 英之
出身：京都府亀岡市
宅地建物取引士
賃貸不動産経営管理士
CPM(米国不動産経営管理士)
相続支援コンサルタント
損害保険募集人(全商品)

1・昨年末の時点で8000戸の管理をお任せ頂いております。戸数は毎年約6%ずつ増加しており、中でもオーナーさまやパートナー企業さまからの紹介が8割を超えております。弊社への期待の重さを改めて感じておりますが、この期待に応えられるように今年もがんばってまいります。

2・筋トレに週3で通っております。一時は週5で通っていましたがヘルニアを患い、ほどほども大事と再認識した次第です。。



仲介営業部
部長
小笠 康平
出身：埼玉県鴻巣市
宅地建物取引士
賃貸不動産経営管理士
相続支援コンサルタント
全経簿記3級
ほめ達!検定3級

1・本年度は、オーナー様の空室をお部屋付けするだけでなく、どうやれば空室が早く・高く決まるのか?という資産価値の向上に向けた提案までサポートさせて頂きます。オーナーセミナー等の様々なイベントも用意させて頂きますので、ご参加下さいますようお願い申し上げます。オーナー様にとって良きパートナーとなれるべく頑張る所存です。

2・定期健康診断にひっかかってしまい、「健康」がマイブームです。目下ダイエット中でございます。。

コメント1・担当業務やオーナー様へのメッセージ
コメント2・マイブーム(公私共)

入居者からの内容別問い合わせ件数

通常の問い合わせ

2018年1~10月



- 1・水漏れ キッチン・トイレ・浴室
- 2・設備 エアコン・給湯器・コンロ etc
- 3・建具 網戸・引き戸・襖
- 4・共用灯
- 5・騒音
- 6・自転車シール
- 7・メールBOX・宅配BOX
- 8・害虫・害獣対策
- 9・排水のつまり
- 10・鍵関係

災害時 震災・豪雨・台風時

2018年6~10月



- 1・クロスの破損
- 2・バルコニーパーテション
- 3・ガラス
- 4・テレビ
- 5・雨漏り

番外編・その後連絡が来ない、早く直してほしい
実は一番問い合わせが多い内容・課題として今後に活かしていきます

賃貸不動産
経営管理士

賃貸不動産経営管理士とは、賃貸管理の知識・技能・倫理観を持つエキスパートです。弊社で9名在籍しています。

佐藤の部署は見た!
ランキング・2018年度

新年を向かえ、新しい気持ちでお過ごしの方も多いと思います。「災害が少ない年であつてほしい」、「満室経営を維持したい」など、期待や希望を抱いていらっしゃるオーナー様も多いと思います。

昨年は管理会社としても色々と勉強になりました。そんな一年でしたが、今回は昨年のお困り事や問い合わせをランキン

グ形式で紹介します。今後の参考までにご一読下さい。
結果を見ますと、エアコンや

給湯器など、季節に偏る設備の故障が若干増え、特に酷暑の影響で、エアコンが熱くなり過ぎて冷えないという問い合わせが多數ありました。また解決の糸口が見つけにくい騒音のトラブルも多數ありました。

災害時の問い合わせは、記載の通りですが、これ以外に、一位のクロスを超える番外編として、「連絡が来ない。」や「早く直して欲しい。」という、いわゆる二次クレームを多く出してしまいました。

居者への進捗確認などが手間取り、結果二次クレームになってしましました。これは管理部として反省し改善につなげるよう努力いたします。

賃貸管理を司る者として恥ずかしい内容ですが、災害の直後は依頼が集中し、なんとか自社対応や協力業者への手配を取り付けるも、作業の人手不足や、部材の多くが品切れで数ヶ月手に入らない等が重なり、入